

關 西 大 學

經 濟 論 集

第 30 卷

昭 和 55 年 度

關西大學經濟學會

関西大学『経済論集』第30巻総目次

第1号(昭和55年4月)

論 文

有効な蓄積需要と均衡経路の不安定性……………佐藤 真人 1～16ページ。

研究ノート

1886—1914年の南アフリカにおける金鉱業について
——Corner House Group を中心として—— ……北川 勝彦 17～34ページ。

資 料

D. E. ヴァレンタイン稿「ソヴェト人口研究小史」
……………市原 亮平 35～40ページ。

大正期経済関係翻訳書目録(Ⅲ)……………経商資料室 41～110ページ。

書 評

池間 誠著 『国際貿易の理論』……………小田 正雄 111～114ページ。

第2号(昭和55年6月)

論 文

レスコヒヤーの労働状態論とブランダイスの労働立法論
——アメリカ労働史論の研究(5)——……………小林 英夫 117～202ページ。

研究ノート

経営参加論考(4)……………西岡 孝男 203～217ページ。

ルーマンのメディア論における貨幣……………春日 淳一 219～226ページ。

資料紹介

H. パーティ＝キング著『ボールティック・エクスチェンジ
——あるユニークな市場の歴史——』……………梶本 元信 227～240ページ。

資 料

大正期経済関係翻訳書目録(Ⅳ)……………経商資料室 241～287ページ。

第3号(昭和55年10月)

論 文

関税の独占擁護効果について……………山本 繁緯 289～311ページ。

参加的意思想定のコンティンジェンシー理論(一)……………	奥田 幸助	313～344ページ。
労働者の株式保有と発展の持続性……………	佐藤 真人	345～364ページ。

研究ノート

経営参加論考(5)……………	西岡 孝男	365～378ページ。
----------------	-------	-------------

資 料

大正期経済関係翻訳書目録索引……………	経商資料室	379～424ページ。
---------------------	-------	-------------

書 評

森岡孝二著『独占資本主義の解明』……………	重田 澄男	425～435ページ。
A. S. アイクナー編『ポスト・ケインズ派経済学入門』 ……………	元木 久	437～446ページ。

第4・5・6合併号（昭和56年1月）

論 文

ユリウス・レエアの二重ウエイト法による指数算式理論 ……………	高木 秀玄	449～471ページ。
参加的意思想定のコンティンジェンシー理論(二)……………	奥田 幸助	473～496ページ。
家計の貨幣需要……………	丹羽 明	497～517ページ。
バグダード鉄道論ノート(2)……………	杉原 達	519～544ページ。

研究ノート

転換関税について……………	山本 繁綽	545～556ページ。
---------------	-------	-------------

書 評

末尾至行著『水力開発＝利用の歴史地理』……………	小杉 毅	557～561ページ。
--------------------------	------	-------------

THE KEIZAI RONSHU
THE ECONOMIC REVIEW
OF
KANSAI UNIVERSITY

VOLUME XXX

1 9 8 0

THE ECONOMIC SOCIETY OF KANSAI UNIVERSITY
OSAKA, JAPAN